

三重大学海女研究センター 「海女学講座Ⅱ」

三重大学人文学部チーム総務担当 ☎ 059-231-6991

伊勢志摩サテライト海女研究センター

海女研究センターは、平成30年3月から市立海の博物館の一部に設置されている三重大学伊勢志摩サテライトの活動拠点の1つです。市立海の博物館などに蓄積されてきた映像や写真、調査結果といった情報のデータベース化や海女漁村集落の景観調査をはじめ、「海女」を切り口として、漁業・漁村に関する多面的な教育研究活動を展開しています。

海女学講座Ⅱを開催します

昨年度に引き続き、今年も「海女学講座Ⅱ」と題し、さまざまな視点から海女を知るための講座を開催します。

本年5月に文化庁が認定する「日本遺産」に「海女（Ama）に出逢えるまち 鳥羽・志摩～素潜り漁に生きる女性たち」が選ばれました。素潜り漁という独特のスタイルはもちろん、海とともに生きるまちならではの祭り、市場に響く明るい声や海藻干し場のおいなど、漁村において五感でとらえられる海女文化は、本地域が誇る宝です。

講座では、海女の魅力を文化財、漁村の景観、観光、祭礼、水産など、グローバルな観点を含めたさまざまな角度から紹介しますので、ぜひ参加してください。（入場無料）

予約不要で参加できますが、全6回参加できるかたについては、事前に講座生として登録をお願いします。登録については教育委員会生涯学習課（☎ 251268）へ連絡してください。



昨年開催した海女学講座Ⅰの様子

三重大学・海女研究センター主催 「海女学講座Ⅱ」

海女について学ぶ海女学講座（全6回）を市立海の博物館・映像ホールにて開催します。

海の博物館の海女文化資料と環境保護運動

とき 10月20日（日） 午後1時30分～3時
講師 海の博物館館長 平賀 大蔵 氏

文化遺産・観光と海女文化

とき 11月10日（日） 午後1時30分～3時
講師 三重大学海女研究センター助教
吉村 真衣 氏

世界も注目する里海とそこで暮らす海女

とき 12月8日（日） 午後1時30分～3時
講師 三重大学副学長・生物資源研究科教授
吉松 隆夫 氏

海女集落の景観特性

とき 12月15日（日） 午後1時30分～3時
講師 三重大学工学研究科准教授 浅野 聡 氏
三重大学工学研究科助教 大井 隆弘 氏

海女漁村の祭礼

ー海女アーカイブ事業中間報告を兼ねて

とき 令和2年1月12日（日） 午後1時30分～3時
講師 前志摩市歴史民俗資料館館長 崎川 由美子 氏

食文化の歴史から見る海女漁

とき 令和2年1月26日（日） 午後1時30分～3時
講師 三重大学人文学部教授 塚本 明 氏

主催：三重大学・海女研究センター

共催：市立海の博物館（公益財団法人 東海水産科学協会）、鳥羽市教育委員会、志摩市教育委員会

後援：海女振興協議会